

特集

サテライト型小規模介護老人保健施設
なのはな館 なぎさ
オープン



連載 相談ひろば Q & A
「ヘルパーさんができない仕事がある？」
認知症～暮らし・よりそう
第1回 「認知症の今～正しい理解のために」

サテライト型小規模介護老人保健施設
なのはな館 なぎさ オープン 3～8

赤門ニュース — 8

連載① 医療・介護 現場の目 — 9

「目は口ほどに物を言ふ」
サテライト型小規模介護老人保健施設なのはな館なぎさ介護主任 松本一志

連載② 相談ひろば Q&A — 9

「ヘルパーさんができない仕事がある？」
館山市地域包括支援センターなのはな管理者・保健師 吉田南子

連載③ 認知症と暮らし・よりそう — 10

第1回「認知症の今と正しい理解のために」
医療法人社団慶勝会理事長（赤門整形外科内科認知症外来医師） 田中耕一

連載④ 簡単！家リハ いつまでも、自分らしい健やかな身体をキープ

その1 座り方から健康に — 10
介護老人保健施設なのはな館みさき理学療法士 長谷川理恵 作業療法士 田沼聡子

イベントニュース — 11

事業所イベント情報 — 11

赤門整形外科内科ご利用のご案内（2014年2月時点） — 12

問合せ先一覧 — 12 この一枚 — 12

【赤門の由来】

江戸時代に南部藩（現在の盛岡）の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は、交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り（庇）を許されました。この朱塗りの門すなわち「赤門」が名称の由来として今日まで継承されています。

赤門
ヘルスケアグループ

「赤門だより」は、赤門整形外科内科を中心とする赤門ヘルスケアグループ（医療法人社団慶勝会および株式会社ケアサービス・まきの実）による共同発行の季刊広報誌（2月・5月・8月・11月発行）です。

当グループは、明治21年（1888年）「赤門鈴木医院」の開院以来、館山・南房総を中心に皆様方のご支援を受けて、医療・介護に取り組んで参りました。また地域でも早くから認知症対策に力を注いで参りました。これからも「その人らしい暮らしを支える」の理念下、地域の皆様に貢献するべく絶えず邁進してまいります。





特集

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ オープン

2013年11月、安房地域で初となる「サテライト型」の
介護老人保健施設がオープンしました。
グループに新たに加わった施設とその取り組みをご紹介します。

◎施設概要 名称:サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ
提供サービス:介護老人保健施設 事業所番号:1253680055 開設年月日:平成25年11月16日 定員:29床
1F:受付、ロビー、リハビリスペース、食堂、浴場、理美容室、診察室、家族室 他 2F:療養室、談話スペース 他 3F:療養室、レクリエーションルーム 他
住所:〒294-0045 千葉県館山市北条2832 TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701 URL: <http://www.keishokai.or.jp>

なのはな館 なぎさ



1

なぎさ——海辺の明るさと開放感

白壁とオレンジのスパイン瓦とのコントラスト。ロビーの先に富士山を望む。



館山の観光エリアの中心地に

2013年11月、サテライト型小規模介護老人保健施設なのはな館なぎさが、館山市北条の海岸通り沿いにオープンしました。

JR館山駅から徒歩4分。目の前の館山湾は、県下有数のイベント「館山湾花火大会」の会場ともなります。鏡の様に静かなことから鏡ヶ浦とも呼ばれ、その夕景は「日本の夕日百選」にも選ばれるほど。なぎさは、地元観光エリアの中心地にあると言えます。

館内に差し込む海辺の陽光

リゾート風の外観と共に目をひくのは館内の明るさです。広々とした1Fロビーとリハビリスペース。大きな開口部は中庭へつながり、館内からも鏡ヶ浦越しの富士山が望めます。食堂は海側に窓が配され、海辺のレストランの様で



海辺のレストランのような食堂。撮影当日はクリスマス会の飾り付けがされていた。

す。その他1Fには浴場や理美容室などがあります。

2F・3Fは利用者様の部屋が並びます。白基調の壁がフロアに明るい印象を与えています。2F

には談話スペース、3Fにはサンスペースがあり、陽光が優しく差し込む憩いの場となっています。なぎさは、海辺そのままの明るさと開放感が感じられる場所です。

Tips 介護老人保健施設(老健)とは

介護の必要な高齢者の自立支援と家庭復帰を目標に、医師や看護、介護、リハビリスタッフ、管理栄養士などによる専門サービスを提供する施設。本人の心身や住居の問題により、自宅での生活に不安がある、または骨折や脳梗塞など様々な理由で入院した後も安全に安心して自宅で過ごしたい、そうした方々を対象に身体機能の回復や維持につなげる。医療機関と自宅との中間施設とも呼ばれる。

2 くつろぎの場——どこにでもある家庭の様に

まるでリゾートホテルの様な印象とは違い、

館内にあるのはあくまで家庭的な雰囲気。

ホテルの様な装い

保養施設を改装したため、なぎさは「ホテルの様だ」と言われます。レンガ壁、石畳と噴水、栄養課職員のキャスケットとチェックの制服もレストランを想起させるかも知れません。また市の景観管理地区に建つため、南欧風の白壁とオレンジ色のスペイン瓦の使用が指導されています。



2F談話スペースでくつろぐ利用者様と職員



しかし日々の様子

から感じられるのは
リゾート感ではなく、
利用者様や職員の家
庭的な雰囲気です。

まるで

ご近所付き合ひ

1Fでリハビリを
終えた利用者様が、
事務室にお気に入り
の職員を見かけまし
た。声をかけると職
員も招き入れ、二人
して冗談話を始めま
した。

海岸への散歩や近
所のコンビニへの買
い物に、職員を連れ
立って出かける利用
者様達も見られます。

談話スペースで
は、炭坑節や憧れの
ハワイ航路に乗って
盆踊りが始まりまし



キャスケットとチェックの制服の栄養課スタッフ

た。誘い合って踊りの輪に集う
利用者様の姿は、さながら近所
の寄り合いか地域の演芸会です。
何気ないお喋りや笑い声にも
踊りの輪にも、リゾートホテル
の様な気取った風はなく、とて
も日常的な利用者様や職員のふ
れあいがかがえます。

3

なぎさのサービス

利用者の心と体を一番に考えて

希望の時間に利用可能な浴場、季節感と地産地消にこだわった食事

県南初のサテライト型老健

なぎさは、県南で初となるサテライト型の老健です。

サテライト型とは「本館と離れた別館」を意味します。看護、介護、リハビリ、栄養士など各専門スタッフが揃い、医師の常駐する本館なのはな館みさき（平成9年開設。119床。以下みさき）と変わらない体制を持ちます。みさきに続く新たな拠点

として、在宅復帰の支援や身体機能維持回復のリハビリテーションなどのサービスを提供しています。

自由な入浴時間、 地元の食材を用いた食事

基本的には毎日の健康チェックや入浴、食事等の看護・介護サービスを行います。身体やご希望に合わせたリハビリテーションや、様々なレクリエーションを実施しています。また「出来る限りご自



地産地消と手作り感にこだわった食事

宅と変わらない環境を」という方針から、例えば入浴は利用者様からご希望があればいつでも利用可能です。食事もお茶の時間も睡眠も、（目安の時間はありますが）基本的には利用者様の望まれる時間で対応しています。

さらに、一年を通じて豊かな農水産物に恵まれる地元食材を用い、季節感と地産地消にこだわった食事提供をしています。利用者様からも好評で、盛り付けの工夫や食堂の雰囲気も相まって、食の細かい方も食べる量が増えてきています。



晴れた日は噴水のそばでお茶や日向ぼっこ



入浴設備は一般・機械浴・個人用檜風呂の3種類

4 ご自宅と変わらない場所であるために

ランチバイキングの実施、介護現場での言葉の見直し。
地域の暮らしをサポートするために。

クリスマスにランチバイキング。
今後は焼き肉やバーベキューも。

昨年末、開所後初めての行事となるクリスマス会が行われました。食事はバイキング形式で提供され、食べ切れないほどの料理の数々は見ただけでも食欲をそそり、利用者様から大変喜ばれました。施設であっても、

食べる楽しさを当たり前の様に味わって欲しいと企画されましたが、今後は焼き肉やバーベキューも予定されています。

これからに向けた取り組み

なぎさは、ご自宅と変わらない場所であることをモットーに、今後も様々な取り組みを行っていきます。

例えば、職員が

現場で使う言葉の見直しです。トイレ誘導、入浴介助、体位交換（略してタイコウ）・・・、こうした用語は確かに業務上は便利

ですが、利用者様やご家族が自宅でそうした言葉を使うことは恐らくないでしょう。介護現場で誰もが慣れてしまいがちなそうした表現は、利用者様やご家族の面前では極力排して言い換えを実施しています。

開所から数か月。なぎさはまだまだスタートラインに立ちただけです。「その人らしい暮らしを支える」というグループの理念の下、利用者様の気持ちを最も大切にしたい、地域に根差した暮らしの支援に取り組んでゆきます。



昨年のクリスマス会。開所後最初のイベントは大盛況。



看護・介護・栄養・事務など活発に意見交換するミーティング。



5 リーダーの言葉

職種の間・利用者様との壁
利用者様とご家族の心を支援する介護のために



医療法人社団慶勝会 介護部長代理
介護老人保健施設なのはな館
みさき・なまの 介護士長

服部 司

職種間のコミュニケーション不足

看護や介護、ケアマネや栄養士、リハビリスタッフなど様々な専門職種が共に働く介護老人保健施設では、職種間のコミュニケーションが不足しがちです。「自分の業務の範囲はここまで」と職種間の壁となってしまうこともあります。すると活発な意見交換や連携がしづらくなり、施設全体として利用者様へも柔軟に対応できなくなってしまうのです。

三大介護業務は本質ではない

介護の本質とは、利用者様やご家族の心を支援する事にあると思います。良好な関係なくして介護スキルが高いとは言えません。例えば、人は誰しも歳をとると「他人には迷惑をかけられない」という気持ちが強くなります。外出や食事はおろか水を飲む事すらひかえる様になり、ご家族へも過剰な気遣いが生じます。そうした心の壁は、いわゆる三大介

護業務（食事・排泄・入浴）だけでは解消できません。利用者様と心から信頼し合える関係を作り、相手の心に寄り添おうという意識を持つことが不可欠です。

職員同士の壁、利用者様との壁を作らない様にするためにもなのはな館では、例えば定例会議だけでなくちよっとした相談の場面でも、様々なスタッフが集まって意見し合える環境作りを進めています。また利用者様と接する機会の少ない事務・庶務職員も、利用者様と同じテーブルで昼食をとってコミュニケーションを図る様にしています。

職種・業務の枠を超える取り組み

そうした業務の枠を超えた積み重ねが、積極的な職員の連携や利用者様との信頼関係を作り、心を支援する介護につながると考えています。ご家族も含めた利用者様の「その人らしい人生」のお手伝いに、今後も一層力を注いでゆきたいと思っています。

Information

NEWS

まきの実保育所リニューアルオープン

2014年1月、館山市北条に新たにまきの実保育所がオープンしました。赤門ヘルスケアグループでは、小さなお子様を育てながら働く職員が安心して業務に取り組めるようグループ内保育所を運営しており、少人数保育で家庭的な雰囲気の中で子ども達が楽しいのびのびと過ごせる保育所をコンセプトとし、一人ひとりの発育を大切に日々過ごしています。



施設名 まきの実保育所
利用対象 株式会社ケアサービス・まきの実の職員の子
開設日 2014年1月16日
【施設に関するお問い合わせ】
株式会社ケアサービス・まきの実
TEL 0470-30-8488 担当：鈴木・明星

NEWS

みなさんの元気を支えます 館山市地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者・ご家族の皆様を、介護・福祉・健康・医療など様々な面から総合的に支えます。皆様のご相談に最適なサービスをご提供できるよう支援します。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。



※館山市地域包括支援センターは、市からの業務委託により市内2ヶ所に設置されています。お住いの地域により問合先が異なります。

▶館山市地域包括支援センターなのはな館山・豊房・西岬・神戸・富崎
TEL 0470-22-1350

▶館山市地域包括支援センターたてやま北条・那古・船形・館野・九重
TEL 0470-25-7191

みなさんの元気を支えます

館山市地域包括支援センター

患者様や利用者様、ご家族とのコミュニケーションで大事にすることは？
現場スタッフが一番大切にしている接し方、目を向けるポイントを語ります。

目は口ほどに物を言う



サテライト型小規模介護老人保健施設
なのはな館 なぎさ
介護主任 松本 一志

全ての基本はアイコンタクト

これまで十年以上に渡り、なのはな館で介護士として勤務してきましたが、現場での経験を通して感じたのは、「相手の目を見て接する」ことの大切さです。

コミュニケーションの基本はアイコンタクト、目と目を交わすことです。どれだけ気持ちを込めて接しても、目を見て話していなければ相手に冷たい印象を与えてしまいます。だからどんな時であってもアイコンタクトを最も大切にしていきます。

目と目を交わしてコミュニケーションを取る中で、相手が「今何を見て、何を考えているか」を察知し、相手の心理状態を少しでも早く、多くつかむことも重要です。そうすることで、一歩先、二歩先を読んだケアをおこなう事が出来ます。そのためにもアイコンタクトは欠かせないポイントだと言えます。

介護は心にかれる仕事

私は「目は口ほどに物を言う」という言葉をいつも念頭に日々のケアを心がけています。常に温かく優しい印象を忘れず、相手の些細な心の動きも見つめ続ける。そんな中で利用者様の笑顔が見られた瞬間、人間にとって一番大切な「心の部分」にふれる仕事をやっているんだ、という実感と強い喜びを感じます。それがこの介護という仕事のやりがいと面白さにつながっているのだと考えています。

相談ひろば Q&A

連載

2

“こんな時はどうしたらいいの？ 誰に相談するの？”

医療と介護に関する様々な疑問・お悩みに専門スタッフがお答えします。

Q ヘルパーさんが できない仕事がある？



答える人
医療法人社団慶勝会
館山市地域包括支援センターなのはな
管理者・保健師 吉田 南子

A

●自立支援に基づくと手伝い

介護保険を使ってヘルパーさんに訪問してもらうには、まず要介護認定を受ける必要があります。認定を受けるとケアマネジャーが生活状況を確認し、どんなサービスがどれくらい必要なかを相談の上、調整します。

介護保険は『自立支援』の考えに基づいているので、普段の生活の中で困ったり、できない所がどうしたらできるようになるかを考えながらお手伝いをしていきます。なんでもお願ひした事やってくれるお手伝いさんではありません。

●介護保険外サービスの利用も

ご家族と同居している場合、掃除や買い物・調理などの生活支援サービスはご利用になれません。通院の為の送迎（乗降）は『要介護1』以上の認定を受けられた方のみが利用できます。また制度上、庭の掃除や窓ふき・重い物の同行などはヘルパーさんにお願ひすることはできません。

介護保険で利用できない内容については、保険外サービスを利用する方法があります。

詳しくは地域包括支援センターまたは居宅介護支援事業所に相談ください。



認知症く暮らし・よりそう

第1回「認知症の今と正しい理解のために」



監修：医療法人社団慶勝会理事長

(赤門整形外科内科 整形外科 認知症外来 医師)

田中 耕一

予備軍含め800万人超

認知症とは、様々な脳の機能や日常生活動作に支障を来す病気です。最近では認知症と精神病は異なるという事を多くの方々も理解されていると思います。種類としてはアルツハイマー型、脳血管型、レビー小体型などが代表的な認知症ですが、その他にも多くの認知症があります。

我が国の認知症高齢者の患者数は、2013年の段階で462万人を超えています。また、認知症予備軍といわれる軽度認知機能障害(MCI)の患者数も約400万人と言われています。統計的には65歳以上の高齢者人口の約15%にあたる人が認知症を発生しています。さらに今後は団塊の世代が後期高齢者となりますが、その頃にはもっと認知症患者数が増加する事が確実で、その日は着々と近づいています。

認知症になっても幸せに暮らせる様に

従って、超高齢化大国の我が国において、全ての年代層の人が認知症に対する正しい理解を持つことが大変重要なことだと思います。まだまだ認知症に対して間違った理解をしている人が多く、しかも残念な事に医療・福祉従事者でもいまだに間違った理解をしている人が多いたというのが現実です。

ぜひ皆様も「自分もいずれは認知症になる可能性が高い」という事を自覚して、自分が将来認知症になっても幸せに暮らしていける様に、正しく認知症を理解していただきたいと願っています。

簡単! 家リハ

その1 座り方から健康に!

いつまでも自分らしい健やかな身体をキープ
リハビリの専門スタッフがご自宅で手軽にできるメニューをご紹介します。

監修：介護老人保健施設 なのはな館 みさき

理学療法士

長谷川 理恵



作業療法士

田沼 聡子



ポイント

ポッコリおなかの解消 & 内臓への圧迫を軽減!

姿勢は、心身をいつまでも健康に保つ全ての基本です。座り方のちょっとした違いにも、心や体は敏感に反応します。あらゆるリハビリの基本となる「良い姿勢・良い座り方」をご紹介します。

★良い座り方

膝が曲がる程度にお尻を乗せたら、首を背中中の延長線でスーッと伸ばします。これが基本姿勢です。足が地面にしっかり着かない場合は、足の下に台座など置いて安定させると良いでしょう。

お気軽にお試しくさーい。



★悪い座り方

体を支える部分がお尻だけになってしまうと、体は自然と足を下に着けようとして前にずれてしまい、悪い座り方になってしまいます。

また知らず知らずのうちに、肺や胃など内臓が圧迫され、筋肉も緩みやすくなって、実はポッコリお腹の原因にもなるのです。



イベントNEWS

2013年10月12日(土)

やつか秋祭り

グループホームやつかガーデン・デイホームやつか

利用者様とご家族また地域の方々もお招きし、やつか秋祭りを開催しました。ボランティア「桜の会」の音頭で盆踊りを楽しんだり、地元祭礼のお神輿にも立ち寄っていただきました。職員による屋台やくじ引き大会も行われ、大いに賑わいました。



2013年12月4日(水)

神明町でランチバイキング

デイサービスセンター神明町

神明町で初となるランチバイキングを行いました。テーブルにはクロスが敷かれ、職員も揃いの出で立ちでお出迎え。いつものデイサービスセンターがレストランに早変わりしました。一緒に料理の取り分けを楽しみ、シェフに扮した栄養課スタッフによるローストポークの切り分け演出などもあり大変盛り上がりしました。

各施設の日々の様子やイベント情報は、ホームページでもご紹介しています。

医療法人社団慶勝会

慶勝会

検索

それぞれの「**新着情報**」から
ご覧になれます。

株式会社ケアサービス・まきの実

まきの実

検索

～餅つき大会(デイサービスセンター神明町)～



～避難訓練(グループホーム神明町ガーデン)～



～日々の様子(デイホーム西の浜)～



～クリスマス会(グループホーム相浜ガーデン)～



2014年2月～5月の主なイベント予定

2月

節分
勝浦ビッグ
ひな祭り見学
梅の花巡り



3月

ひな祭り
家族会



4月

お花見
さくら巡り
家族会



5月

端午の節句
茶話会
いちご狩り
日帰り旅行



詳しくは各事業所にお問い合わせください。

赤門整形外科内科 ご利用のご案内 (2014年2月時点)

診療時間	月～金	(午前)9:00～12:00 (午後)14:00～18:00
	土曜日	(午前)9:00～12:00 (午後)14:00～17:00
リハビリテーション	月～金	8:30～19:00
	土曜日	8:30～17:00
外来受付時間	月～金	8:30～18:00
	土曜日	8:30～17:00
休診日	日・祝・祭日、年末年始 (12月30日～1月3日)	



最新の外来予定はこちらのQRコードからご確認ください。



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・原爆医療指定・公害・特定疾患・身体障害者福祉法指定医

赤門ヘルスケアグループ 事業所一覧

●医療法人社団慶勝会

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4
TEL.0470-24-3113 FAX.0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼1637-1
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

●株式会社ケアサービス・まきの実

グループホーム堂の下ガーデン

〒294-0056 千葉県館山市船形827-11 TEL&FAX. 0470-20-5228

グループホーム神明町ガーデン

〒294-0045 千葉県館山市北条1173-6 TEL&FAX. 0470-24-5075

グループホーム広瀬ガーデン

〒294-0008 千葉県館山市広瀬368-1 TEL. 0470-20-6221 FAX. 0470-36-1022

グループホームやつかガーデン

〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1 TEL. 0470-33-3113 FAX. 0470-33-3114

グループホーム相浜ガーデン

〒294-0235 千葉県館山市相浜75-1 TEL. 0470-20-7511 FAX. 0470-28-3588

デイサービスセンター神明町

〒294-0045 千葉県館山市北条1180-1 TEL. 0470-25-5766 FAX. 0470-24-3090

デイホーム柏崎

〒294-0034 千葉県館山市沼1627-2 TEL. 0470-25-5337 FAX. 0470-22-8101

デイホーム西の浜

〒294-0034 千葉県館山市沼865 TEL. 0470-23-3319 FAX. 0470-23-3392

デイホームやつか

〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1 TEL. 0470-33-3113 FAX. 0470-33-3114

デイホーム神明町

〒294-0045 千葉県館山市北条1180-1 TEL. 0470-25-5766 FAX. 0470-24-3090

すりーえす(生活支援サービス、介護タクシー、福祉用具販売・貸与)

〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1
生活支援・福祉用具 TEL. 0470-28-4025
介護タクシー TEL. 0470-29-5210 & 080-8809-8881

本部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1-2階 TEL. 0470-30-8488 FAX. 0470-29-5206

介護タクシー・まきの実

電話一本で対応。お気軽にご連絡下さい。



通院、買い物、
外出、観光など、
皆様の暮らしの
足としてお気軽に
ご利用下さい。

介護保険外サービス・生活支援サービスも承っております。

電話 0470-29-5210 / 080-8809-8881

【この一枚】

表紙の写真は、昨年末なぎさの中庭で撮影されました。腰かけているのは噴水を囲う縁石です。この日は空も高く澄みきり、風もなく清々しい冬晴れの日でした。



赤門ヘルスケアグループ季刊広報誌「赤門だより」 通巻43号
(医療法人社団慶勝会・株式会社ケアサービス・まきの実 共同発行)
発行・責任:「赤門だより」編集発行室
〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1
TEL.0470-25-7300 FAX.0470-25-7301
医療法人社団慶勝会 <http://www.keishokai.or.jp>
株式会社ケアサービス・まきの実 <http://www.makinomi.co.jp>
発行日:2014年2月15日(年4回 2月・5月・8月・11月発行)
編集・印刷:有限会社PJCデザイン
写真:青写真、有限会社コアコミュニケーション